

平成24年塩尻市議会6月定例会

総務環境委員会会議録

○日 時 平成24年6月15日（金） 午前10時10分

○場 所 第一委員会室

○審査事項

（1）委員長辞任届の取り扱いについて

（2）総務環境委員会正副委員長の互選について

（3）その他

○出席委員

委員長 古畑 秀夫 君

副委員長 務台 昭 君

委員 牧野 直樹 君

委員 金田 興一 君

委員 青柳 充茂 君

委員 五味 東條 君

委員 丸山 寿子 君

委員 柴田 博 君

○欠席委員

なし

○議会事務局職員

事務局長 小松 俊夫 君

事務局次長 宮本 京子 君

庶務係長 小澤 秀美 君

午前10時10分 開会

○五味東條委員 おれは、総務の委員としては認めることは出来ません。

○柴田博委員 本来、辞めたい理由の中の一つは、きょう審議中の議案に賛否の議決をする時に自分も参加したいと、そういうことなの。

○古畑秀夫委員 細かくは私は分かりませんが、いずれにしても、さっき述べていたのが私も初めて聞いたもので、それ以上のことは私自身も分かりません。

○金田興一委員 突然のことで、詳しいことは分かりませんが、いま青柳委員長が辞任の理由を全ては申さないけれどと言った中の一端に、私が予想していた結論と真逆の結論になったので、私は政治信念で辞めると、裏を返せば自分の思うようにならないで、おら辞めたという話になるわけだよね。これは、ちょっとどんなもんかな。

○丸山寿子委員 委員長が自分の意見を言いたい場合は副委員長に相談して交代してということはやれることなんですよ。だから降りるということは、全く委員長を降りるということを言っているかと思うんですが、金田委員が言うように、委員長になった以上、自分の思った通りと違う意見が出て、それを取りまとめて議場で委員長報告をするのも委員長の務めなので、そういうことでやっぱり委員長というのを引き受けてまっとうするものだと思うので、とても言っていることは理にかなっていない。過去に選挙はともかくとし

て、委員長を交代したというような例はあるけれども、それは、ちょっと何か問題があった場合に、みんなの判断また本人の判断としても、降りたというようなことは過去にもありますけれど、ちょっと今回のこういったことが、それが理由でということは、ちょっと値しないと思います。

○柴田博委員 事務局に聞きたいですけど、こういう場合にだめだよということも出来る。

○事務局長 委員会条例の規定によりますと、委員長を辞任しようとする時には委員会のまず許可を得なければならないということになっております。委員会の許可がないと委員長を辞任出来ませんが、委員長がその気にならなければ委員会がどんなに許可を拒否をしてでもですね、委員長が動かなければ委員会になりませんので、あともし委員長が出てこなければ、副委員長が代行をして進めていくということになりますけれど。

○柴田博委員 その場合に、たとえば今の現委員長が、きょうは今、開会したけれど、これで閉会しますといった場合にはどうなるの。

○五味東條委員 そうだね。

○柴田博委員 委員長が今日は委員会をやりませんというふうに宣言した場合にはそうなるんですか。

○事務局長 それは、とりあえず閉会となりますよね。

○柴田博委員 出た後に。これが今出ていて、辞任届が出ていて、もし認めないという話をした時に青柳さんが、じゃあ認められないなら委員長として今日の委員会は中止しますと、もう閉会にしますとなれば、ここでおしまいということ委員会は。

○事務局長 ですね。

○五味東條委員 ですね。

○事務局長 あとは委員のほうから開催要求なりを出してもらって、それに基づいて開催をするか。

○柴田博委員 改めてね。

○五味東條委員 もう一つ聞きたいけれど、そのいいです。総務委員長を辞任したいということは、ようするにずっと総務委員長を辞めるということかい、これから。

○柴田博委員 そうでしょう。

○事務局長 そういうことです。

○五味東條委員 だから、ようするに今回の委員会だけでなく、これからも委員長の職は辞めたいということだね。

○牧野直樹委員 理にかなっていないなら議員も辞めればいいじゃん。それならすっきりするわね。

○五味東條委員 自分で立候補したずら、はっきり言や。自分で立候補して委員長になったんずら。ほんで自分で勝手に辞めるだ。ようは辞任したいということは、これからずっと辞めるということずら。そういうことかい。

○事務局長 そういうことです。

○牧野直樹委員 議員も辞めればりゃいいだ。市長選に専念すればいい、辞めて。それを流せばいい、こっちに。そうじゃなければ議員もやめましょ。そうじゃないかい。

○柴田博委員 それは、また別問題。辞める正当な理由かどうか分からないけれど、そういう思いの人が委員長をやっていて議事運営をしていっても、あまりいいことではないと思うので辞めたいならどうぞとっていいんじゃないの。改めてここで正副を決めればと思います。

○古畑秀夫委員 できるだ。

○柴田博委員 できるでしょ、それは当然。

○古畑秀夫委員 辞めるっていうことなら、どうしようもない。

○丸山寿子委員 かつて辞めたことはある。

○柴田博委員 あったつけ。

○丸山寿子委員 常任委員会ではないけれど、広報で。

○五味東條委員 はっきり言って思い出せば言っちゃ悪いけど、議会運営委員会の時に委員長になった時に途中じゃ辞めるじゃないぞと、選挙があることを意識して。それで委員長になったからには全うしろよということで言ったら途中で委員長を降りたわけだ。それで小野が委員長になって、おれが副になったわけさ。その時にも、ようは委員会で約束したわけだ。委員となったからには全うしろよと、市長選をということを約束しておいてそうなった。だから今度二回目なわけだ。今度、総務委員長になったときには自分で手を挙げて自分になりますということを立候補してなったわけでしょ。だれも推薦したわけではないと思うよ。はっきり言って。

○柴田博委員 それは心境の変化やいろいろあるから、しょうがないじゃないの。

○丸山寿子委員 選挙はちょっと、しょうがないと思いますけれど。

○柴田博委員 そんなこと、ぐだぐだ長くやっても仕方ない。

○古畑秀夫委員 どうですかね、改めて。

○務台昭委員 やっぱりね、これ理由を聞かなければ。どういうことで、おれは辞めることを決意したか。あれが分からない元が。ただ辞めると言えばそれでいいのか、それには長い物語ではないが、いろいろ経緯があると思うんだよ。その中でこういうことと、こういうことと、こういうやり方が気に入らないとか、これはおれには反するとか、あるいは付いていけないとか、いろいろあると思うんだよ理由が。そういうものがある程度ははっきりしないと宝くじを引いているわけではないから。ある日、突然当たっちゃったと、そんな感じでないもので。そういう理由を聞く、そういうあれがなきゃいけないと思うんだよ。そして、なるほど、おめえさんそうかい分かったと、それは辛労だったろうとか、あるいは苦痛で耐えられない状態になっているとか、そういう事情をある程度理解した上でないとね、おれたちだって辞める、はいそれじゃあ結構だと。それで代わるとしても今度新しくなる人も前の人は辞めたというわけに、自分にただ辞めるという一言で終わっちゃったよと、それだけの理由じゃ、なったり辞めたりということが、そんな簡単なものじゃないと思うだよ。おれたちだって理由をある程度知らなきゃいけないんじゃない。なんで、どういうことで、そういう彼が決意するまでに至ったかということ。そりゃあ病気になったとか、何か耐えるだけの体力が、もうなくなっちゃって出来ないという実情をおれだったって、皆さんの前で披露しなければ現実はどうだと、そうしなきゃ分かってもらえないと思うんだよ。

○古畑秀夫委員 どうですか、今の意見。

○柴田博委員 私は、そういう理由を聞くのはべつに嫌じゃないけれど、理由を聞いたとしても、その理由によって許可するとか許可しないという答えにはならないと思いますので、この際だれがやるかは、これからですけども、辞任については認めていいんじゃないかと思います。

○金田興一委員 この委員会条例13条というのを、ちょっともう一回。

○五味東條委員 ちょっと、どういうあれだい。ちょっと読んでおくれやい。

○事務局長 それはですね、委員長及び副委員長が辞任しようとするときは、委員会の許可を得なければならない。これだけです。

○金田興一委員 柴田委員が言ったようなもんだ。発言の機会を確保するために委員長を辞めるということでは、ちょっとくだらんけどね。分からんけど。

○丸山寿子委員 ただ今回それで発言をしたければ、副委員長とその部分だけ交代して。副委員長が良ければ。それは出来ることだから。

○五味東條委員 委員長は辞めて、総務委員の委員として残るわけかい。

○古畑秀夫委員 それでは、そういうことでいいですか。務台委員のほうから本人から説明を求めたほうがいいのじゃないかということですが、なかなか細かいところまで求めて、この全体場で報告できる中身には多分ならないと思うんだよね。そういうことからして、ここで新しく委員長、副委員長。委員長だけ選んでもらえばいいということかい。

○金田興一委員 一人で二役できないもん。

○丸山寿子委員 いや。

○五味東條委員 ようするに、委員長を辞めるという願いなんだけれども委員長が勝手に自分の意思で辞めて、委員長は辞めたけど総務委員としては残るわけずら。

（「そうです。」との声あり）

○五味東條委員 常識的にありえる。

○柴田博委員 総務委員の中から互選したんだから。

○古畑秀夫委員 互選して、ここで委員長になったやつをみるということだけだもんで。もともと委員だから。

○牧野直樹委員 おれは、そんな人と一緒に総務委員やりたくない。おれも総務委員辞めるよ。

○五味東條委員 そうなるよ、本当の話。

○古畑秀夫委員 そういうことでいくと委員長だけ選ばばいいということでもいいのかね。

○丸山寿子委員 委員長によってだから、まず委員長を選べば。

○古畑秀夫委員 そうしければ進まない、選ばなければ。

○丸山寿子委員 副委員長を含め全員の中から委員長を選ぶと考えればいいと思います。過去にも、たまたま副委員長から委員長になったという例もあるし、他の人がなった例もあるし。

○五味東條委員 それはある。だから具体的に言えば、青柳充茂が議運の委員長の時に市長選に出て、委員長を辞めて、副の小野さんが委員長になった。

○丸山寿子委員 私が一期目のときも私が副委員長の時に委員長が、辞職したので別の人が委員長になった。

○金田興一委員 その長か副かどっちの場合だけど許可する場合も不許可の場合もいわゆるなんだい、ここでやって今度はみんな傍聴もいる中で許可の理由、不許可の理由というのは委員会としては述べる必要はあるだかい、ないだかい。

○事務局長 特別なと思います。

○牧野直樹委員 副委員長が受理しなければよかっただ。

○古畑秀夫委員 受理って、おら知らなかったってこと。

○牧野直樹委員 知らないでってやっておけばよかったじゃん。

○丸山寿子委員 受理しないってことも出来ないんじゃないですか。

○牧野直樹委員 副委員長の立場として一時保留にしておいて、ちょっとまってろよ言えば、それで済むことだ。紙っぺらで。これから委員会やる、その日にとって、ちょっとおかしいじゃないかのか前もって話がな

ければって、ちょっと待ってって言うておけば。

○金田興一委員 委員会やっている最中だって。

○古畑秀夫委員 だって、今だってこと。

○牧野直樹委員 そんなバカに付き合っていられない。

○古畑秀夫委員 それでは、いろいろあると思いますが、議論の経過からいくと本人もう、やらないということと言っている以上えらい不許可ということにもならないと思いますので、委員長、副委員長両方。

○金田興一委員 まず、許可するかしないかを決めて。

○事務局次長 今ここにいる人を含めて委員長を選んでいただければ。

○五味東條委員 願いが出ていたので、願いをまず、どうするか。

○金田興一委員 それを決めなければだめだ。

○古畑秀夫委員 そういうことで辞任願いが出ておりますので、これを許可するということで。

○五味東條委員 私は却下。認めないので。おれは。

○古畑秀夫委員 じゃあ採決したいと思います。辞任願いを許可する人は、委員は挙手願います。

〔挙手多数〕

○古畑秀夫委員 4対2。4人ですので辞任願いを許可するということで進めさせていただきます。よろしいですか。それでは、あと委員長を、この中で互選で選出。

○柴田博委員 ここからは入れなくていいの。許可した時点で、青柳さんを。

○五味東條委員 委員も辞めてもらえばいいがな。総務委員を。

○古畑秀夫委員 ただいま議論の結果、辞任願いを許可することになりましたので、委員長のポストを改めてここで選出していただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。まず立候補者おりましたら挙手をお願いします。それでは、皆さんからあれでしょうか。

○青柳充茂委員 おれもいいだね、推薦してもね。

○金田興一委員 だって辞める者が。

○牧野直樹委員 いろいろ言わない。

○青柳充茂委員 推薦はできるんじゃないの。

○牧野直樹委員 いいじゃん、やらねって。だまってるや。何を言ってるだ、ちょっとだまってるましょ。

○柴田博委員 副委員長の古畑さんにやってもらうしかないと思います。

〔「異議なし」の声あり〕

○務台昭委員 そういうもんだと思うよ。

○牧野直樹委員 責任とらなきゃいけないわ、副委員長が。嫌なら出しゃいいで。

○金田興一委員 嫌なら出せるでね。

○古畑秀夫委員 他にはありますか。

〔「なし」の声あり〕

○古畑秀夫委員 それでは、副委員長のほうの推薦をお願いいたします。立候補の方も。推薦でありますか。

○丸山寿子委員 務台議員に副委員長になっていただきたらと思います。

○古畑秀夫委員 他には。それでは務台さんということ。

○務台昭委員 ちょっと言わせてください。これ、まだなつたばかりでね、本当に動きその物がね、あまりまだ具体的にくみ取れないというか、勉強不足はあるけれど、そういう全く皆さんとはキャリアが違うんで

す。そういう人がね、やってみたって、もう船は先へ進まないって感じになっちゃうんだよね。だから、もしやるのなら、もうしばらく待っていただきやまた、その時点で考えますが。ちょっと現時点ではご辞退申し上げます。自信がありません。

○金田興一委員 委員長がいるで、そんなに心配はいらないがね。

○丸山寿子委員 いままでも一期目の議員のみなさんで、やってきていただいていたので。

○牧野直樹委員 一期目の議員でやってきた、副委員長。

○丸山寿子委員 一期目の方に最初からやっていただいていますので、是非お願いします。

○務台昭委員 そういうルールもあるんですか。

○丸山寿子委員 じゃないですけど、副委員長は、やってきていただいていますので。

○古畑秀夫委員 ほかの委員会もやられているので。

○務台昭委員 自信のある人は自分でやりたいと言うかもしれないけど。

○丸山寿子委員 自信とかはない。

○務台昭委員 まあ、どれだけ役に立つか立たないか分からないですけど、名前だけでも連ねていただいて。

○古畑秀夫委員 それでは、そういうことで、よろしくお願いしますと思います。

○事務局次長 いま正副委員長をお決まりいただいたので、これからまた再開するわけですけど、職員の紹介もありますものですから、正副委員長が決まりましたので一応、席で正副委員長の就任のあいさつだけはお願いしたいと思います。

○五味東條委員 もう一つだけいい。たとえば各委員会で、委員長、副委員長が決まった時は全員協議会なんかで全部、議会かなんかで報告しなかつたっけ。委員会だけで終わったっけ。委員長のあれは。

○事務局長 臨時会のときには、本会議場で委員長の互選と副委員長の互選を発表しますけれども。

○五味東條委員 各議員が一応、認めているわけでしょ。違ったっけ。

○事務局長 それは報告しているだけです。

○事務局次長 あくまでも委員会の中で決めたことでの権限ですので、今回、議長報告が最終日にありますが、その時点で報告を兼ねていただければよろしいかと思います。

○五味東條委員 全議員に一応、徹底しなけりゃね。いけねと思うだよ。一応。

○金田興一委員 今の流れでいいと思うけど、議長くらいには今度、委員長が代わったと言って、それから公表にならなきゃ議長のある存在ってのも、おかしいんじゃないか。議長くらいには、決まりあるかないか知らないけども。事前にちゃんと。

○事務局長 手続き的なものは、ここでちょっと研究させてもらって進めますけれど、今日は委員会中ですので、正副委員長さんは、その職に就いていただいて司会、進行を進めていただきたいと思います。あとの手続きは、事務局の方でして参りたいと思いますので、お願い致します。

○古畑秀夫委員 それでは、それでよろしいでしょうかね。それでは、どうもご苦労さまでした。

午前10時40分 閉会

平成24年6月15日（金）

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

総務環境委員会委員長

印